

「防災街歩き」や「防犯訓練」といった
きっかけから「地域防災力」が向上

平塚：防災街歩き

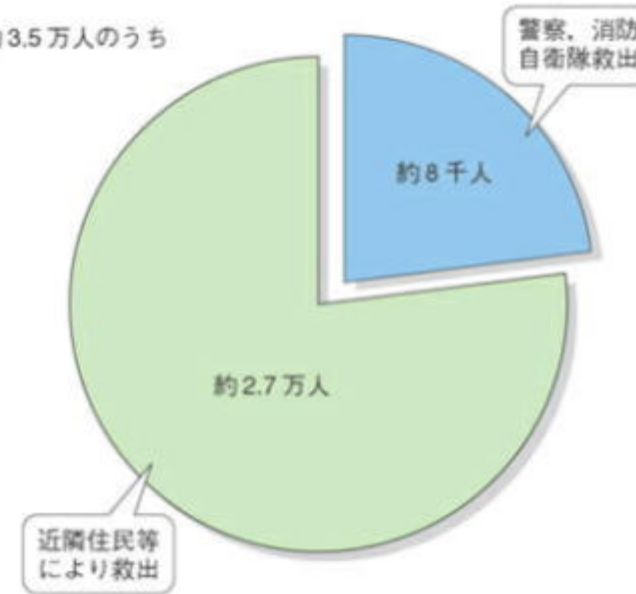


目白：防犯訓練に防災の取組みを加味



阪神・淡路大震災では多くの人を近隣住民が救出

要救助者約3.5万人のうち

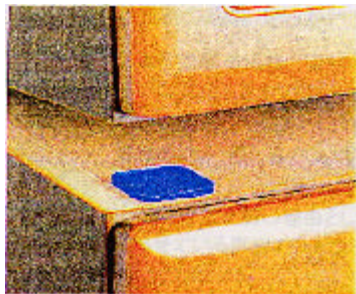


【河田恵昭「大規模地震災害による人的被害の予測」『自然災害科学Vol.16, No.1』(1997), p.8】による

阪神・淡路大震災では、要救出者35,000人の
うち約8割が家族や近隣住民により救助

防災の取組みを、防犯などの他の目的の活動と合わせて実施し、
長続きさせ日常化することが有効。

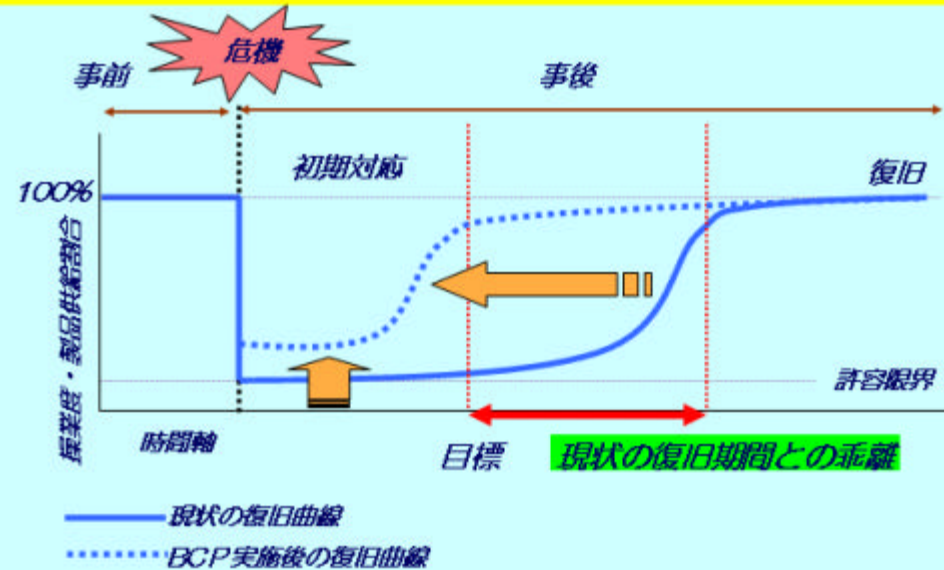
防災性の高い商品・サービスの例



引っ越し業者の家具転倒防止サービス

BCP(業務継続計画)

危機発生直後の操業度・製品供給割合の低下防止と復旧期間の短縮



「業務継続計画 (BCP: Business Continuity Plan)」

バックアップシステムの整備等により、災害で事業が中断した場合に可能な限り短期間で重要な機能を再開させ、顧客の他社への流出、シェアの低下、などから企業を守る経営戦略。

震災疎開パッケージ

平成十四年度防災功労者内閣総理大臣表彰受賞

今の日本で、年間5000円で買える「安心」はこれだけかもしれない。



■素晴らしいホテル・旅館の数々



■地元の人を選ぶ特産品の数々

災害が
起きたら

提携地域への避難、充実した生活を保障!

30万円
相当

災害が
無ければ

次年度更新時、
全国各地の特産品をプレゼント!

3000円
相当

運営主体：全国商店街震災対策連絡協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1丁目9番21号

TEL: 03-5287-5525 FAX: 03-3203-2908

ホームページ: <http://www.shoutengai-sinsai.com>

募集対象：各参加商店街会員および周辺地域居住者

疎開対象期間：平成15年1月1日から1年間（毎年更新）

疎開開始条件：地震、噴火、津波を原因とする「災害救助法」が発令された地域の加入者

疎開費用給付：中学生以上1人につき30万円相当（宿泊費+指定方法で移動した交通費）

小学生以下1人につき15万円相当（宿泊費+指定方法で移動した交通費）

※現金での支給では有りません。宿泊などの現物での支給となります。

代金：中学生以上5,000円（税別）、小学生以下3,000円（税別）[ご両親同伴申込みに限る]

インターネット申込み受付：株式会社商店街ネットワーク

<http://www.shoutengai.co.jp/package/>

※本商品は、(株)あいおい損害保険よりご支援頂いております。

販売店：